

## 地域公共交通の制度財源検討会（第21回）開催のお知らせ

本検討会では、地方都市や大都市圏縁辺部の地域公共交通サービスに焦点を当て、民間の自由競争と独立採算を基本とする日本の常識(世界の非常識)を制度的に見直すことを目標にして議論を深めることが必要と考え、2019年3月より、これまで20回の議論を重ねてきました。

2020年初頭からは、COVID-19の世界的流行という事態が生じ、従来から続く公共交通の利用者数減少に加えて「新しい生活様式」の定着が移動量の減少につながるといった深刻な影響をもたらし、事業者が経営破綻の危機にさらされるという事態に至り、これについては補正予算措置などの当面の対策は取られてきましたが、図らずも公共交通の経営問題と公益性とのあるべき関連という基本的な課題が指摘されることとなりました。

また一方で、いわゆる2024年問題として、運輸・物流業界における運転手不足が表面化し、バス・タクシー事業等の縮小に伴う減便や路線廃止の動きが各地で起きていることは皆さまご承知のとおりです。

さて、前回の開催から暫く間が空いてしまいましたが、このような状況のもと、今回は本年4月から上下分離が図られ、新たな運行が開始された近江鉄道線を取り上げ、当会の宇都宮浄人も委員であった「近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会」の委員および「活性化分科会」の座長として、上下分離方式の実施に向け取り組んでこられた、(一社)グローカル交流推進機構理事長 土井勉 様から、会場とオンライン併用の形式でお話を伺うこととし、引き続き検討会ご参加の皆様と意見交換を行うこととしました。

皆様には、この「制度財源検討会」に奮ってご参加をお願いしたいと思います。

NPO 法人 エコエネルギーによる地域交通システム推進協会(AREEV)理事長  
人と環境にやさしい交通をめざす協議会(交通まちづくりの広場)代表幹事  
竹内 佑一

- 地域公共交通の制度財源検討会 第21回
  - 日時 2025年1月11日(土) 14:00 ~ 16:00(予定) 延長もありえます  
実施方法：オンライン(Zoom)および会場参加によるハイブリッド開催
  - 会場 関西大学梅田キャンパス 705教室  
会場アクセス: <https://www.kansai-u.ac.jp/ja/about/campus/#umeda>
  - 講師 土井 勉 氏 (一社 グローカル交流推進機構 理事長)
  - 題目 『近江鉄道:存続への道とこれから』
  - 参加費 会場参加: 1,000円(資料代) オンライン参加: 無料
  - お申込み イベント受付ツール「イベントレジスト」経由でお申し込み願います。  
⇒ <https://eventregist.com/e/162nwPyM28ct>
- なお、イベントレジストを初めてご利用になる場合は、予め利用登録が必要となります。  
お申し込みいただいた方には後日、当日使用するURL等をお伝えします。  
また、会場での参加を希望される方は、上記に加え [yasashii.transport@gmail.com](mailto:yasashii.transport@gmail.com) 宛にその旨をお知らせ願います。  
(会場参加枠: 先着20名 定員に達した場合は、オンラインにての参加を願います。)
- 問合せ先 人と環境にやさしい交通をめざす協議会(交通まちづくりの広場)  
⇒ [yasashii.transport@gmail.com](mailto:yasashii.transport@gmail.com) 小田部(コタベ)

※ 別添は土井勉氏の新著(2025年1月17日刊行予定)

岩波ジュニア新書「ガチャコン電車血風録 (地方ローカル鉄道再生の物語)」